

CP5001-84

C5000 シリーズ

8x4SDI ルータ用コントロールパネル

取扱説明書

Ver 1.02

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがる、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

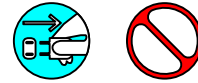

■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。




注意
■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。


■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。


■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
 湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。


■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。


■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。


■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。


■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
 本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
 海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	6
2. 構成.....	6
3. 機能.....	6
4. ブロック図.....	6
5. 操作説明.....	7
5-1. フロントパネル.....	7
5-2. リアパネル.....	8
6. 据付方法.....	9
6-1. 接続.....	9
6-1-1. 電源ケーブルの接続.....	9
6-1-2. RUT5103-12G-84 との接続.....	9
6-1-3. 他のコントロールパネルとの接続.....	9
7. 基本操作.....	10
7-1. 出力保持モード.....	10
7-2. 出力連続モード.....	10
7-3. OUTPUT-INPUT モード.....	10
7-4. INPUT-OUTPUT モード.....	10
7-5. DUAL LINK モード.....	10
7-6. QUAD LINK モード.....	10
8. コネクタ ピンアサイン表.....	11
9. 定格および電気的特性.....	11
10. 外観図.....	12
11. お問い合わせ.....	13

1. 概要

- CP5001-84 は、12G-SDI 対応 8x4SDI ルーター RUT5103-12G-84 用コントロールパネルです
- EIA-1RU の 19 インチラックマウントサイズです。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

CP5001-84 は本体と付属品で構成されています。

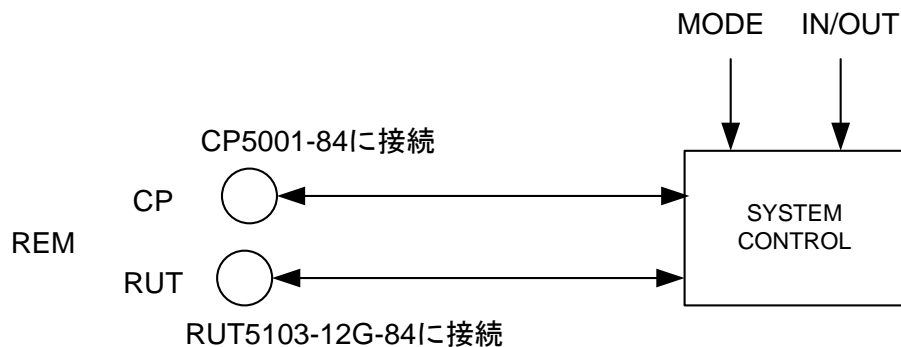
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品名	型名	数量	備考
RUT5103-12G-84 用コントロールパネル	CP5001-84	1	本体
電源ケーブル		1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

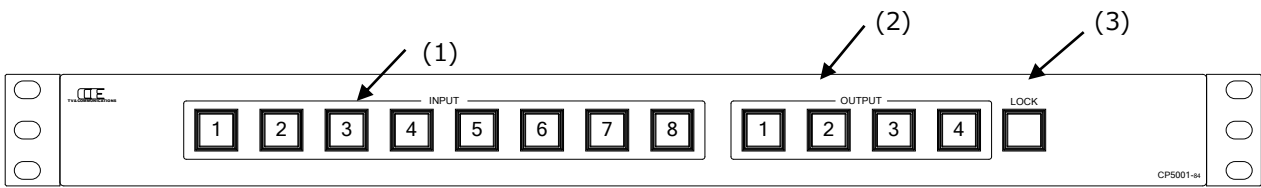
- ・コントロールパネルは、最大8台をカスケード接続可能。（REM RUTへのコマンド発行と、REM CPからのコマンドをREM RUTにコマンド発行、REM RUTからのステータスは、フロントスイッチのステータスに反映し、REM CPにステータス発行）
- ・クロスポイントの切替操作は、大きく分けて出力保持モードON/OFFの2通り。（リア、MODEスイッチで設定）
- ・出力保持モードONでは、選択した出力チャンネル（点灯中の出力チャンネル）に対し、入力チャンネルを押すごとにクロスポイントを切替。
- ・出力保持モードOFFでのクロスポイントの切替方法は、以下の3つの方法で切替。
 - 1) INPUT を選択してから、OUTPUT を選択。INPUT を選択した時点で、OUTPUT は消灯。
 - 2) OUTPUT を選択してから、INPUT を選択。OUTPUT を選択した時点で、選択されている INPUT が点灯。
 - 3) OUTPUT のチャンネルを押しながら、INPUT を連続して選択。
- ・LOCKスイッチ長押し(1秒)によりロック状態(点灯)にすることによりスイッチ操作を禁止。再度長押しすることにより解除。

4. ブロック図



5. 操作説明

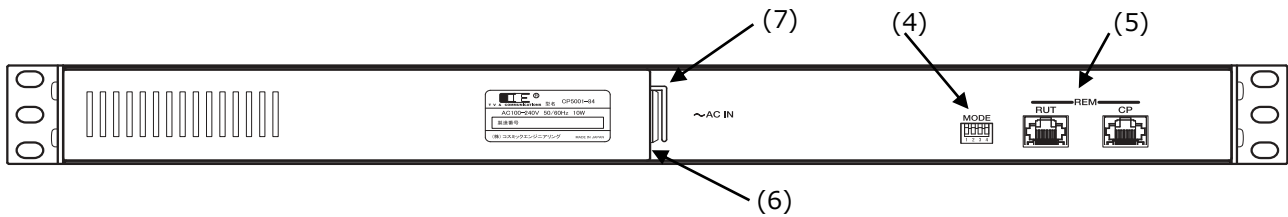
5-1. フロントパネル



- (1) 入力選択スイッチ INPUT
- (2) 出力選択スイッチ OUTPUT
- (3) ロックスイッチ LOCK

1 秒長押しで、フロンパネルのキー操作を無効、ロック状態にします。ロック状態では、点灯し、再度 1 秒長押しすることにより通常状態に戻ります。

5-2. リアパネル



(4) 動作モードスイッチ MODE

リモコンの動作モードを決めるスイッチです。

スイッチ番号	動作モード
1,2	(OFF,OFF): 出力保持モード (通常) (ON,OFF) : OUTPUT 連続モード (OUTPUT を押している間、INPUT を連続切替) (OFF,ON) : OUTPUT-INPUT モード (OUTPUT を押してから INPUT 選択) (ON,ON) : INPUT-OUTPUT モード (INPUT を押してから OUTPUT 選択)
3,4	(OFF,OFF) : シングルリンクモード (通常) (ON,OFF) : DUAL LINK モード (OFF,ON) : QUAD LINK モード (ON,ON) : 設定禁止

(5) リモートコネクタ REM(RUT,CP)

RUT 本体と、他のコントロールパネルを接続するコネクタです。デジチェーンでコントロールパネルを接続することができ、RUT コネクタは RUT 本体が接続されている側に接続し、後段のコントロールパネルは CP 側に接続します。

(6) 電源コネクタ AC IN

付属品の電源ケーブルを接続するコネクタです。電源ケーブルを接続すると電源が入り、シングルリンクモードでは、OUT1 と選択されている入力点灯します。DUAL LINK モードでは OUT1,2 とそれぞれ選択されている入力点灯します。QUAD LINK モードでは、OUT1~4 と、それぞれ選択されている入力点灯します。DUAL LINK/QUAD LINK モードでは、直前の動作モードにより、本来の DUAL LINK/QUAD LINK ペアでない入力点灯している場合があります。RUT5103-12G-84 の電源が入っていない場合は、選択されている入力の LED が点灯しません。

(7) 電源抜止金具

抜け防止のために電源ケーブルを固定する金具です。

6. 据付方法



注意

ご使用のフレームの電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。電源がオフでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。また、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作業を行ってください。

6-1. 接続

6-1-1. 電源ケーブルの接続

付属品の電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(6)に接続して電源抜止金具(7)で固定します。

電源ケーブルのオス側は AC コンセントに挿入して下さい。

設置場所の AC コンセントが 3 極でない場合は、市販のプラグアダプタを使用いただき、必ずプラグアダプタのアース線を施設のアース端子に接続してください。

※ 電源ケーブルに付属品以外をご使用になると、形状により電源抜止金具(7)が使用できなくなる場合があります。

6-1-2. RUT5103-12G-84 との接続

REM:RUT 側のコネクタと RUT5103-12G-84 をストレートのイーサネットケーブルで接続します。

6-1-3. 他のコントロールパネルとの接続

REM:CP 側のコネクタと後段の他の CP5001-84 の REM:RUT 側をストレートのイーサネットケーブルで接続します。

7. 基本操作

7-1. 出力保持モード

- 1) OUTPUT を押すと、押された OUTPUT と現在その OUTPUT が選択している INPUT が点灯します。
- 2) 点灯している OUTPUT の設定を INPUT を押すごとに切り替えます。本体で設定禁止に選択されている INPUT を選んだ場合は、切り替わりません。

7-2. 出力連続モード

- 1) OUTPUT を押すと、押された OUTPUT と現在その OUTPUT が選択している INPUT が点灯します。
- 2) OUTPUT を押し続けている間、連続して INPUT を切り替えることができます。

7-3. OUTPUT-INPUT モード

- 1) OUTPUT を押すと、押された OUTPUT と現在その OUTPUT が選択している INPUT が点灯します。
- 2) 切り替える INPUT を押すと、切り替わります。再度切り替えるためには切り替える OUTPUT を押す必要があります。

7-4. INPUT-OUTPUT モード

- 1) 切り替えたい INPUT を押すと、その INPUT が点灯し、OUTPUT が消灯します。
- 2) 切り替える OUTPUT を押すと、その OUTPUT が点灯し、切り替わります。

7-5. DUAL LINK モード

出力保持モードで説明します。

- 1) OUTPUT を押すと、押された OUTPUT と、そのペアとなる OUTPUT が点灯し、それぞれの OUTPUT が選択している INPUT が点灯します。（DUAL LINK モード設定前の状態が残っていると、通常のペアではない設定が点灯します）
- 2) 切り替えたい INPUT のペアのどちらかを押すと、そのペアが点灯し、切り替わります。切り替えたい INPUT のペアのどちらかが、設定禁止になっている場合、切替操作は無視され、切り替わりません。

7-6. QUAD LINK モード

出力保持モードで説明します。

- 1) 全ての OUTPUT が点灯し、それぞれの OUTPUT が選択している INPUT が点灯します。（QUAD LINK モード設定前の状態が残っていると、通常のペアではない設定が点灯します）
- 2) 切り替えたい INPUT のグループのどれかを押すと、そのグループが点灯し、切り替わります。切り替えたい INPUT グループのどれかが、設定禁止になっている場合、切替操作は無視され、切り替わりません。

8. コネクタ ピンアサイン表

REM RUT RJ-45

1	RS422_RX_P	3	RS422_TX_P	5	GND	7	GND
2	RS422_RX_N	4	GND	6	RS422_TX_N	8	GND

REM CP RJ-45

1	RS422_TX_P	3	RS422_RX_P	5	GND	7	GND
2	RS422_TX_N	4	GND	6	RS422_RX_N	8	GND

RS422_TX_* RS422送信信号。

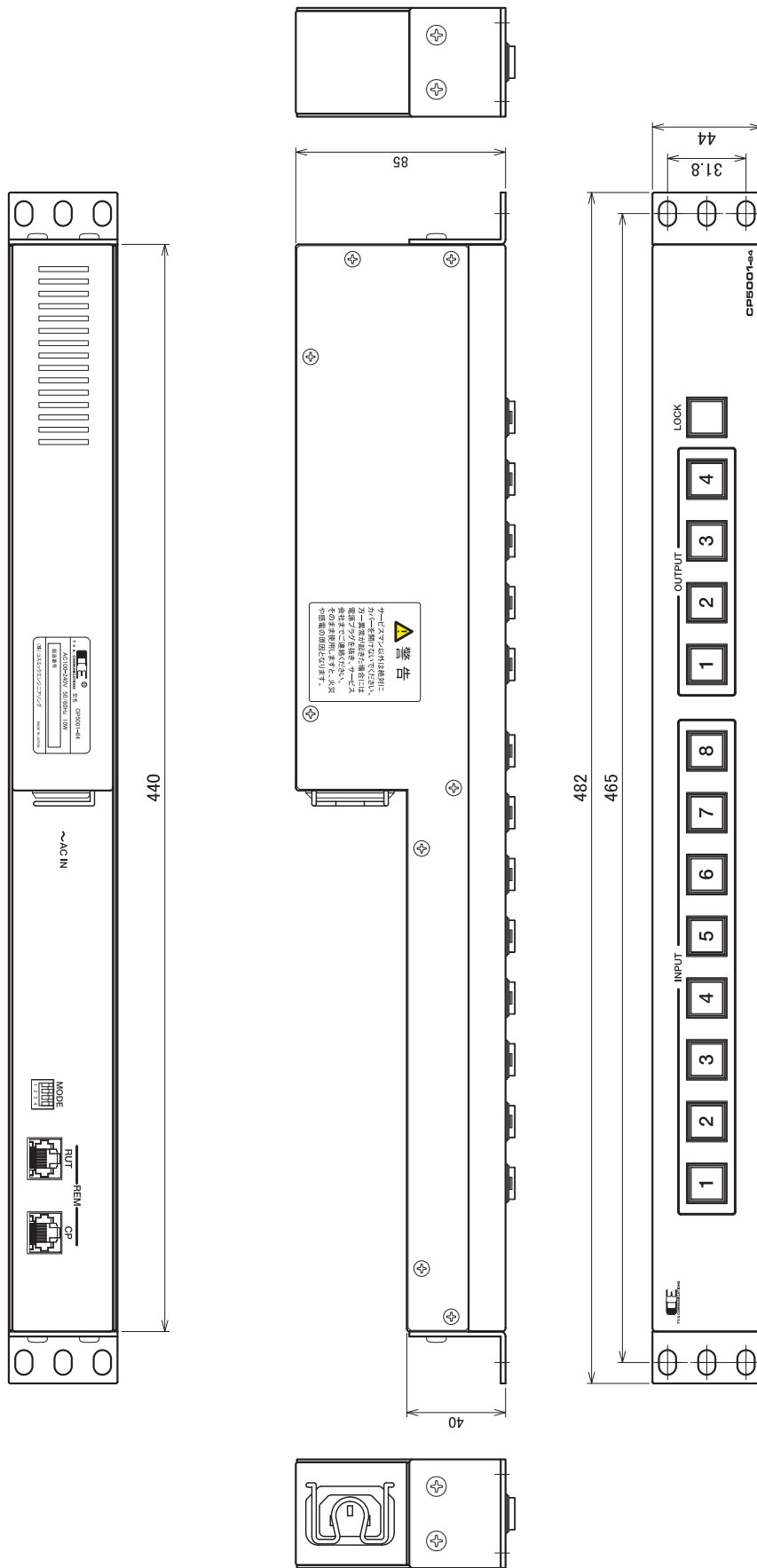
RS422_RX_* RS422受信信号。

装置間はずべてストレートケーブルで接続してください。

9. 定格および電気的特性

リモート入出力	コネクタ	RJ-45x2
MODE	ビット 1,2	動作モード設定
	ビット 3,4	SINGLE LINK/DUAL LINK/QUAD LINK 設定
動作環境	0 °C ~ 40 °C 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	AC100V~240V±10%(AC90~264V) 50/60Hz	
消費電力	2 W	
外形寸法	215 x 88 x 150 mm	
質量	1.3 kg	

1 0 . 外觀圖





1 1 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp